

M&A により注目を集めるベトナム製薬業界の株式

2025 年 2 月 10 日 作成

カテゴリ ベトナム M&A M&A 動向

M&A により注目を集めるベトナム製薬業界の株式

2024 年は、ベトナム株式市場が低迷する中、製薬業界の株式は M&A（合併・買収）を背景に注目を集めている。

DBD 株の力強い成長

ビンディン医薬・医療機器株式会社（DBD）の株価は 2024 年に 32% 以上上昇し、史上最高値を記録した。この成長は、スイスの KWE Beteiligungen AG が同社の持株比率を 10.01% に引き上げたことが要因となっている。また、DBD は 2024～2025 年にかけて国有資本の売却対象リストに含まれており、戦略的投資家にとって魅力的な投資機会を提供している。

製薬業界の M&A 動向

多くのベトナム製薬企業が海外投資家の関心を集めている。

- ドゥオック・ハウザン（DHG）：日本の大正製薬が 51% の株式を保有し、親会社として経営権を掌握している。
- ドメスコ（DMC）：アボットは子会社の CFR International Spa を通じて 52% の株式を保有した。
- ピメファーコ（PME）：ドイツの STADA Arzneimittel AG が全株式を取得し、2021 年に上場廃止した。
- イメックスファーム（IMP）：韓国の SK Investment Vina III が 48% 近くの株式を保有し、関連株主グループの合計保有比率は 55% を超える。
- トラファコ（TRA）：韓国のデウング製薬が 15% の株式を保有している。
- ドゥオック・ハタイ（DHT）：日本の ASKA 製薬が 25% の株式を保有している。

これらの M&A 案件は、ベトナム製薬業界がグローバルな企業から戦略的投資先として注目されていることを示しており、国内外の投資家にとって大きな関心を呼んでいる。

以上